

## TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

## 第119回 アジアの今を読み解く

【講師】<sup>みやもと けんすけ</sup> 宮本 謙介 氏

北海道大学名誉教授。亜細亜大学特任教授。台湾・国立台中科技大学兼任教授。社会学博士（一橋大学）。専門はアジア社会経済史、現代アジア社会経済論。朝日カルチャーセンターなど市民講座の講師経験も豊富。著書に『アジア開発最前線の労働市場』など多数。

【内容】 「21世紀はアジアの世紀」と言われます。今回の日曜講座では、アジアの政治・経済・社会の動きに関するホットな話題を題材にしながら、注目すべきいくつかのテーマに即して「アジアの今」を読み解きます。

今や超大国として国際社会で存在感を増す中国、地域協力熱心な東南アジアと巨大な潜在力をもつインド、紛争の火種を抱えるイスラム圏の西アジア、さてアジアの今後はどうなるのでしょうか。日本はどうかかわるべきでしょうか。さあ一緒に考えましょう。

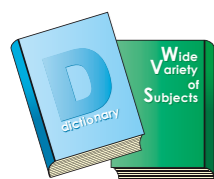


日時 2020年1月19日(日) 14:00~16:00

場所 多摩交流センター会議室  
府中駅北第2庁舎6F(府中市寿町1-5-1)  
(京王線 府中駅北口 徒歩3分)  
※駐車場はありません。ご注意下さい。

申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。

受講料 無料  
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾  
TEL 042-335-0111



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2020年1月講義案内

(受講料: 1月16日は会員・会員外ともに500円(資料代含む)、1月23日は会員無料・会員外は500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1208回	1月16日(木) 13:30から	【新春特別講座】 1.講演 「意味が解体した世界を生き延びる」 2.アトラクション 「二胡演奏」 楊智二胡樂團	講演 <sup>かわとう あきお</sup> 河東 哲夫 氏 (コラムニスト・元外交官)	コール田無 多目的ホール (西武新宿線 田無駅北口 徒歩7分)
第1209回	1月23日(木) 14:00から	最近の世相を斬る	秋山 紀勝 氏 (元朝日新聞社記者)	武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

「多摩交流センターだより」の問合せ先

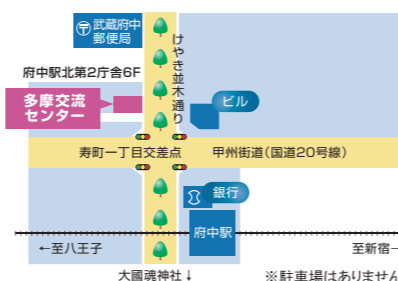
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



ちょっと一息

色々な市町村のシンボルマーク(市町村章)  
～花の図案化編～

市町村章は各市町村のシンボルマークで、市町村の風土、歴史、文化などを表現しているんだ。39市町村それぞれに市町村章があって色々なデザインがあるんだけど、今回は花を図案化している市町村章を紹介するね。

## 青梅市

梅の花の模様と、飛ぶ鳥に図案化した「青」の文字を組み合わせて、市の飛躍発展を象徴しているんだよ。



## 国立市

国立市の市章は、梅の花だよ。シンプルに見えるけど、二重の外側は、「国」のかまえを表し、内側は、「立」と文教の「文」を示し、図全体で世界五大州の意味も含んでいるんだって。



※世界五大州:地球上の五つの大陸のこと

## 小金井市

小金井市が桜で有名なところから、桜の花びらと、図案化した小金井市の「小」の文字で小金井市を表しているよ。



- 師走を迎え早いもので今年も残り1ヶ月。今年も数々の大きな出来事がありました。
- まず、頭に浮かぶのは、新元号「令和」の誕生です。4月30日に第125代明仁天皇陛下が譲位され、5月1日に徳仁皇太子殿下が新しい天皇陛下に即位されました。天皇が譲位されたのは、1817年に光格天皇が上皇となって以来202年ぶりのことでした。
- 10月には、新天皇即位を正式に国内外に宣明する「即位礼正殿の儀」が行われました。
- また、10月には2014年以来5年ぶりに消費税が8%から10%に引き上げられました。増税に合わせて、飲食料品などを対象にした軽減税率や、キャッシュレス決済のポイント還元など、景気対策として新たな制度が導入されました。この制度の導入により混乱もありましたが、自分に合ったスタイルでこの制度を上手に活用して節約につなげていきたいと思います。一方で、消費税増税の目的である社会保障の充実・安定化と財政健全化が早期に確立されるよう期待したいところです。
- スポーツ分野に目を転じると、1月の全豪オープンで、女子テニスの大坂なおみ選手が優勝し、昨年の全米オープンに続き四大大会2連勝を達成しました。また、8月には、女子ゴルフの渋野日向子選手が、四大大会の全英女子オープンで優勝しました。
- さらに、9月から11月に全国各地で熱戦が繰り広げられた「ラグビーワールドカップ2019」では、日本代表が初のベスト8進出の快挙を果たしたことから空前のラグビー

- ブームが起こりました。こうした日本選手の活躍は来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け一層の気運の高まりに貢献していると考えます。
- 当調査会が取り組んでいるオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」に関係するところでは、9月の国連気候変動サミットでスウェーデン人のグレタ・トゥンベリさんが、各国首脳を前に気候変動の危機を訴えた演説が印象的でした。
- 今年も地球温暖化が要因と言われる自然災害が日本各地で発生しました。
- 関東地方では、9月、10月に台風15号、19号が上陸し、広範囲に渡り甚大な被害をもたらしました。特に台風19号は、上陸前から記録的な豪雨を降らせ、東京に初めて「大雨特別警報」が発令されました。各所で豪雨被害が発生し、多摩地域では、河川の氾濫や土砂災害が起こり、住宅の浸水被害や損壊、地域の孤立など、住民生活に大きな影響を及ぼしました。被害に遭われた方には謹んでお見舞い申し上げます。
- 2013年以降、気象庁は、数十年に1度の重大な災害が迫った時に「特別警報」を発表していますが、地球温暖化の影響からか常態化しており、重大な災害がいつ起こってもおかしくない状況となっています。当調査会では、東京62自治体すべてが、災害対策を含めそれぞれの地域特性に応じた適応計画などを策定する際の支援となるよう、来年も「気候変動への適応策に関する調査研究」に取り組んでいきます。(K・K)